

令和5年12月15日	
資料提供	
担当課室	教育庁文化遺産課
担当者	中西、岡田
電話	073-441-3730 (内線 3736)

収蔵品情報ポータルサイト 「和歌山ミュージアムコレクション」 をご活用ください

～いつでも、どこからでも、芸術鑑賞しませんか？～

wakayama.museum



お問い合わせ先



このポータルサイトは、3つの県立博物館施設が中心となって運営しています。

wakayama.museum



和歌山県立近代美術館

momaw.jp
〒640-8137
和歌山市吹上 1-4-14
TEL.073-436-8690
FAX.073-436-1337

和歌山県立博物館

hakubutu.wakayama.jp
〒640-8137
和歌山市吹上 1-4-14
TEL.073-436-8670
FAX.073-436-6643

和歌山県立紀伊風土記の丘

www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp
〒640-8301
和歌山市岩橋 1411
TEL.073-471-6123
FAX.073-471-6120

県内の文化遺産を一望できる、新たな出会いの場

悠久の歴史と雄大な自然を誇る和歌山県には、古くから育まれてきた豊かな文化を物語る数多くの「文化遺産」が残されています。これらの価値を守り、広め、次世代に引き継いでいくため、和歌山県は4つの博物館施設(=ミュージアム:和歌山県立近代美術館・和歌山県立博物館・和歌山県立紀伊風土記の丘・和歌山県立自然博物館)を設置・運営しています。

これらのうち、歴史や美術を専門とする3館が、それぞれの収蔵品を総合的・横断的に紹介し、県内外の皆さんに広く親しんでいただけるよう、ポータルサイト「和歌山ミュージアムコレクション」を立ち上げました。

日頃、博物館施設に馴染みがある人もそうでない人も、まだ見ぬ収蔵品との出会いをお楽しみいただき、気になる収蔵品がありましたら、是非、現地でその実物にも触れてみてください。

将来的には、県内のさまざまな施設にも参加していただき、県全体の文化的な魅力を発信するポータルサイトとして発展させていくことを目指しています。



作品・資料へのアクセスを簡単に。ミュージアムをもっと身近に。

ポータルサイト「和歌山ミュージアムコレクション」は、令和4(2022)年度の和歌山県新政策事業「和歌山博物館施設デジタル化計画」の一環として開設したものです。これに先立ち、県立博物館施設3館では、収蔵品情報のデータベース化を行い、いつでも、どこからでも、インターネットを通じて誰もが簡単にアクセスできる基盤を整備したほか、各館のホームページでもそれぞれの収蔵品の検索ができるようになりました。

このポータルサイトには、収蔵品の横断検索機能(簡易検索・詳細検索)はもちろん、高精細画像コンテンツをはじめ、歴史・美術などの分野の垣根を越えてさまざまな作品・資料と出会うための仕掛けが盛りだくさんです。現在掲載されている収蔵品は約16,000件ですが、今後も画像データの追加やコンテンツの拡充などに取り組んでいきます。

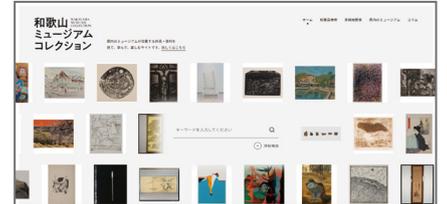
なお、こうしたデジタルアーカイブの作成・公開は、令和4年4月に成立した改正博物館法において新たに位置付けられた博物館事業の一つでもあります。



和歌山ミュージアムコレクションでできること

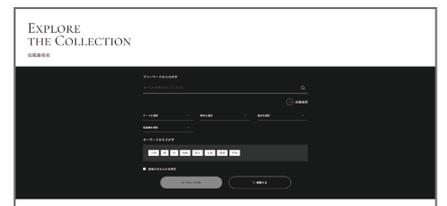
トップページ

いろいろな作品・資料の画像がゆっくりと流れていきます。画像を選択すると、それぞれの詳細ページに移動。収蔵品との新たな出会いが生まれます。



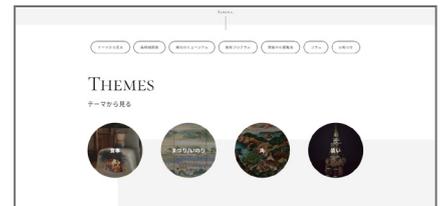
収蔵品検索

ミュージアムの収蔵品を横断的に検索できます。詳細検索では、キーワードや画像の有無などの項目を用意しています。



テーマから見る

分野を超えた収蔵品との出会いに導くいくつかのテーマを、ファーストビューにピックアップしました。今後は利用者の意見も取り入れながら、新たな視点や資料どうしのつながりを充実させていきます。



高精細画像

高解像度で撮影した収蔵品の画像を見ることができます。展示室で実物を見るときとは違った魅力の発見につながるかもしれません。



教育プログラム

県立博物館施設3館で実施している教育普及に関するプログラムを掲載しています。活動内容や興味・関心、対象年齢などにあわせてプログラムを比較することができます。



県内のミュージアム

歴史・郷土・美術・自然など、多分野にわたる県内のミュージアムの情報を掲載しています。次はどんなところに行ってみよう？こんなミュージアムがあったのか！一度に見える・分かる便利な1ページを目指しています。





和歌山ミュージアムコレクションをたのしもう～高精細画像～

たとえば…

野長瀬晩花《島の女》

現在の田辺市中辺路町近露に生まれた野長瀬晩花による掛軸の作品。人物の輪郭線や椿の花、少女の着物に配された朱色は、女性の髪を中心に用いられた青緑色との対比によって、さらに鮮やかに感じられます。

[高精細画像を見る](#)

高精細画像では絹本の織目や透明感のある絵具の重なりまで見ることができます。



島の女

しまのおんな

野長瀬 晩花

収藏品情報

年代 1916 (大正5) 頃

材質・技法 顔料、絹

収蔵館 和歌山県立近代美術館

たとえば…

《紀州本川中島合戦図屏風》

川中島合戦のうち、天文23(1554)年と弘治2(1556)年の合戦を主題とし、緻密な筆致で人物やお城などを描きます。武田信玄と上杉謙信の一騎打ちは注目の一場面です。

[高精細画像を見る](#)

高精細画像では、大きな屏風に描かれた武将たちのようすもよく見えます。まるで戦国時代の合戦の世界に入り込んだよう！



紀州本川中島合戦図屏風

きしゅうほんかわなかじまかつせんずびょうぶ

収藏品情報

年代 江戸

材質・技法 紙本着色

収蔵館 和歌山県立博物館

たとえば…

《弥生土器 壺》

弥生時代中期に製作された壺です。拡大すると、器面に施された直線や波形などの文様を見ることができます。

外部サイトでは3Dモデルも閲覧できます。

[収藏品詳細を見る](#)

[収藏品詳細へ](#)

「◆三次元データ」URL
(外部サイト)



弥生土器 壺

やよいどき つぼ

収藏品情報

年代 弥生時代中期

収蔵館 和歌山県立紀伊風土記の丘